

香川県丸亀市がグリーン・デスティネーションズ・ストーリー・アワード（ビジネス&マーケティング部門）世界2位と、2026年版「世界の持続可能な観光アワード」で「シルバーアワード」を受賞！
【ブランディング】

持続可能な観光に関する香川県丸亀市の取り組みが、国際認証機関であるグリーン・デスティネーションズ※（以下、GD）が選出する2025年版「世界の持続可能な観光地TOP100選」に続き、「Green Destinations Top100 Story Awards ITB Berlin 2026（グリーン・デスティネーションズ・ストーリー・アワード ITBベルリン2026）」の「Business & Marketing（ビジネス&マーケティング）」部門で世界2位を受賞しました。

併せて、GDが地域を表彰するアワード（GDアワード）で、丸亀市が「シルバーアワード」を受賞しました。同賞における四国での受賞は、2024年の香川県小豆島、愛媛県大洲市のシルバーアワード受賞に続くものとなり、持続可能な観光地として、国際的な第三者機関から高い評価を得たこととなります。

これを受け、4月8日（水）、香川県高松市で丸亀市と当機構による記者発表を行いました。

※グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（GSTC）が制定した観光の国際基準に基づき、持続可能な観光地を認証する団体、本部はオランダ。



【記者発表】

開催日時	2026年4月8日（水）		
実施場所	情報通信交流館 BBスクエア（香川県高松市）		
登壇者	四国運輸局 丸亀市 （一財）丸亀市観光協会 当機構	局長 市長 理事長 代表理事	田村 顕洋 松永 恭二 高濱 和則 半井 真司
機構出席者	半井代表理事、伊藤統括副本部長 ほか6名		



<丸亀市による説明の様子>



<記者発表の記念撮影の様子>

四国遍路を題材にしたスペイン映画『Kotodama — El Camino del Espejo』に出席 【ブランディング】

4月8日（水）、在東京スペイン大使館で開催された、スペイン映画『Kotodama — El Camino del Espejo』のプライベート上映会に出席しました。

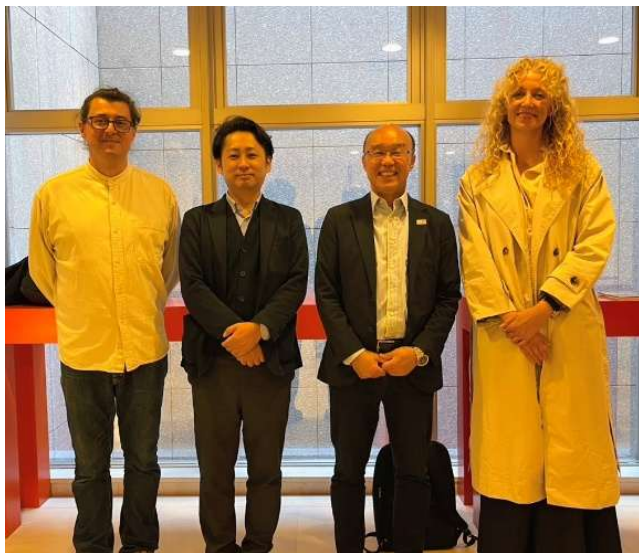
本作は、エウヘニオ・タルドン氏とカルラ・カニェジャス氏によるドキュメンタリー映画で、映画と現代アートを結びつけるプロジェクトであり、日本とスペインの二つの巡礼道の伝統と書道の実践を通して、言葉、創造、内なる探求をめぐる詩的かつ映像的な旅を描いた作品です。四国遍路の巡礼文化を世界へ発信すべく、当機構は本映画へスポンサーとして協賛しております。

本作は今後、2026年9月にスペインで開催される「サン・セバ스티アン国際映画祭」でのワールドプレミア上映を皮切りに、「ヒホン国際映画祭」への参加も予定されており、国際的な舞台での展開が期待されています。

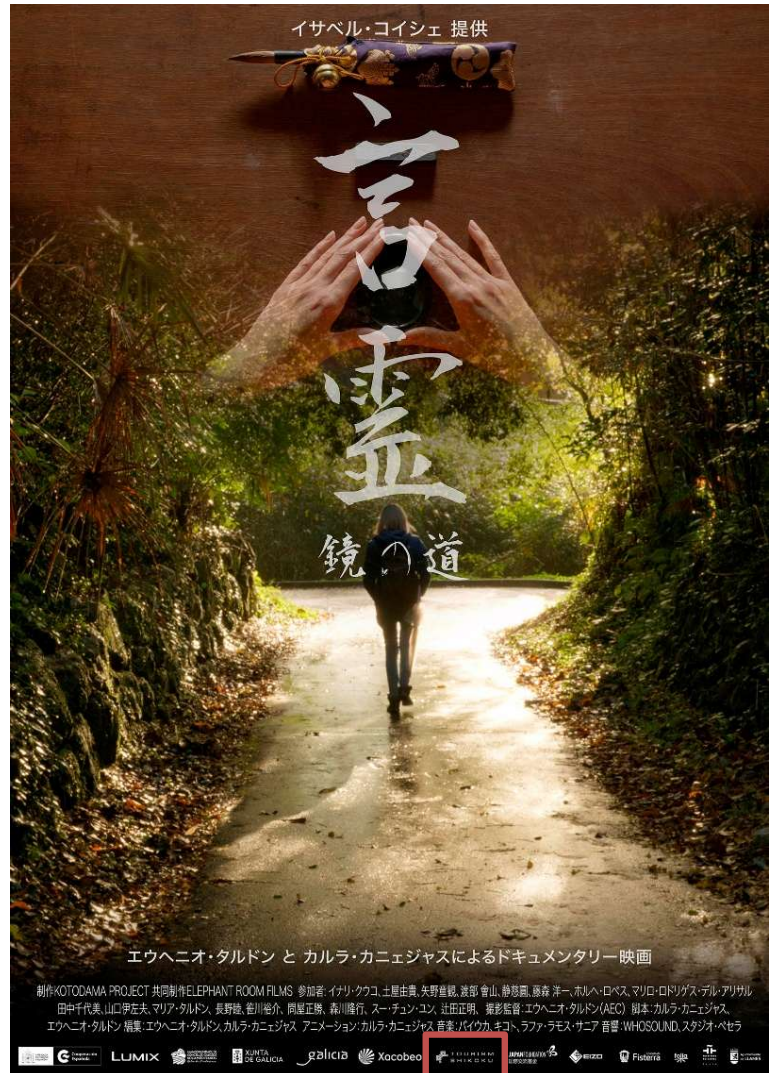
当機構は、本作品を通じたスペイン・欧州市場などでの四国の魅力発信に期待するとともに、引き続き関係各所と連携しながら、四国におけるインバウンド誘客とブランド確立に取り組んでまいります。



<上映会の様子>



<左からエウヘニオ・タルドン氏、清水CMO、桑村本部長、カルラ・カニェジャス氏>



開催日	2026年4月8日（水）
実施場所	在東京スペイン大使館（東京都港区）
機構出席者	桑村本部長、清水CMO

詳細は[こちら（公式ページ）](#)をご覧ください。



東かがわ市長・副市長、(一社)東かがわ地域経営機構(Hilmo)理事長と「持続可能な観光」に関する意見交換を実施

【ブランディング】

4月15日（水）、上村東かがわ市長・久保副市長および一般社団法人東かがわ地域経営機構（Hilmo）寺西理事長と、「持続可能な観光」の推進について意見交換を東かがわ市にて行いました。

東かがわ市は、引田の歴史的町並みや白鳥神社、引田湾における養殖業、自然・食・文化など、多彩な地域資源を有しているほか、近年は体験型観光や教育旅行の可能性についても注目が高まっています。その一方で、香川県内における観光動線が高松以西へ偏る傾向がある中、東かがわエリアへの誘客強化や、地域資源を活用した新たな観光コンテンツの磨き上げが課題となっています。

当日は、当機構が推進する「持続可能な観光」の取組や、グローバル・サステナブル・ツーリズム協議会（GSTC）に基づく国際認証制度、四国「持続可能な観光」推進ネットワークの活動内容について説明を行いました。あわせて、東かがわ市が有する地域資源や教育分野との連携の可能性についても意見交換を行いました。特に、海外からの教育旅行やスクールツーリズムに関する話題では、日本の学校文化や地域との交流体験が、海外旅行者にとって魅力的な観光コンテンツとなり得る可能性や地域住民や子どもたちの地域への誇りや愛着の醸成にもつながる取組として、「持続可能な観光」の重要性について認識を共有しました。

当機構では今後も、各地域の特色を活かした「持続可能な観光」の推進を通じ、四国ブランドのさらなる拡大に取り組んでまいります。

開催日時	2026年4月15日（水）
実施場所	東かがわ市役所（香川県東かがわ市）
参加者	東かがわ市植村市長、久保副市長、 (一社)東かがわ地域経営機構寺西理事長
機構出席者	桑村本部長、松本チームマネジャー、多田マネジャー



<左から寺西理事長、桑村本部長、上村市長、松本TM、久保副市長>

「JAL麗らか四国キャンペーン」を実施中！！

【マーケティング】

当機構と日本航空（株）では、主に首都圏から四国への観光を促進するため、今年度も「JAL麗らか四国キャンペーン」を実施しています。同キャンペーンでは、四国への誘客並びに周遊の促進を図るため、航空券と宿泊がセットとなったダイナミックパッケージ商品、割引クーポン（往路・復路別空港利用）や二次交通（レンタカー・タクシー・フェリー代など）利用特典、「しこるり」の「旅ぱす」6ポイントなどを付与し、お得感満載にて販売しております。

（キャンペーン対象期間）

2026年4月1日（水）～10月31日（土）ご搭乗分

JAL麗らか四国キャンペーン
特設サイトはこちら



「令和8年度四国カルスト広域連携推進協議会 総会」に出席

【その他】

4月13日、「令和8年度四国カルスト広域連携推進協議会総会」が久万高原町役場柳谷支所で開催されました。四国カルスト広域連携推進協議会は、2023年4月に構成市町の連携体制強化を目的に設立されました。3年間の取組を通じ、基盤整備が進展しています。

2025年度から「情報発信チーム」及び「旅行商品造営チーム」の2チームに分かれ、本格的な分科会活動が開始されています。総会では、2025年度の事業報告と2026年度の事業計画についての決議があり、その後、研修会が行われました。

研修会では、四国運輸局、愛媛県、高知県から各事業の説明があり、当機構からは、四国における「持続可能な観光地域づくり」についての説明を行いました。

開催日時	2026年4月13日（月）
実施場所	久万高原町役場 柳谷支所（愛媛県久万高原町）
機構出席者	桑村本部長



総会の様子

今月のオウンドメディア等

(清水CMOからの情報)

今月は、AIからのホームページ流入について当機構のデータを分析いたします。あわせて、2026年 [2月号10ページ](#) で掲載した旅行者のカスタマージャーニーマップが、AIの普及によって今後どう変化していくのかを検証します。

※あくまで私自身の実体験をもとにした仮説となりますのでご了承ください。

【大前提】

現在、ホームページの閲覧数を分析する汎用ツールとして、Google Analytics 4（以下、GA4）が使用されていますが、AIなのかWEB検索からの流入なのか、正確に判別できる設定がないのが実情です。

そのため、当機構では、セッションの参照元から「chatgpt. openai. perplexity.ai gemini.google.com claude.ai copilot.com」のホームページ流入をAIからのホームページ流入として、暫定的で定義しております。

この設定には、①全てのAI流入数を拾えていない、②（ホームページ流入はないが）AIにどの程度当機構ホームページが参照されているかを把握できないという限界があります。

その他、良い設定方法があれば是非ご共有くださいませ。

【取得データのイメージ】

Gemini

四国観光マップリンク集

四国の観光マップが掲載されているリンク先を教えてください

AI回答内のリンクをクリックして遷移した場合のみ計測されます。
AIで得た情報をもとにユーザーが別途検索してアクセスした場合は計測対象外となります。

Google Search

四国の観光に役立つ公式マップやパンフレットのリンクをまとめました。
四国全域をカバーするものから、各県ごとの詳細なマップまで目的に合わせて活用してください。

1. 四国全域のマップ・パンフレット

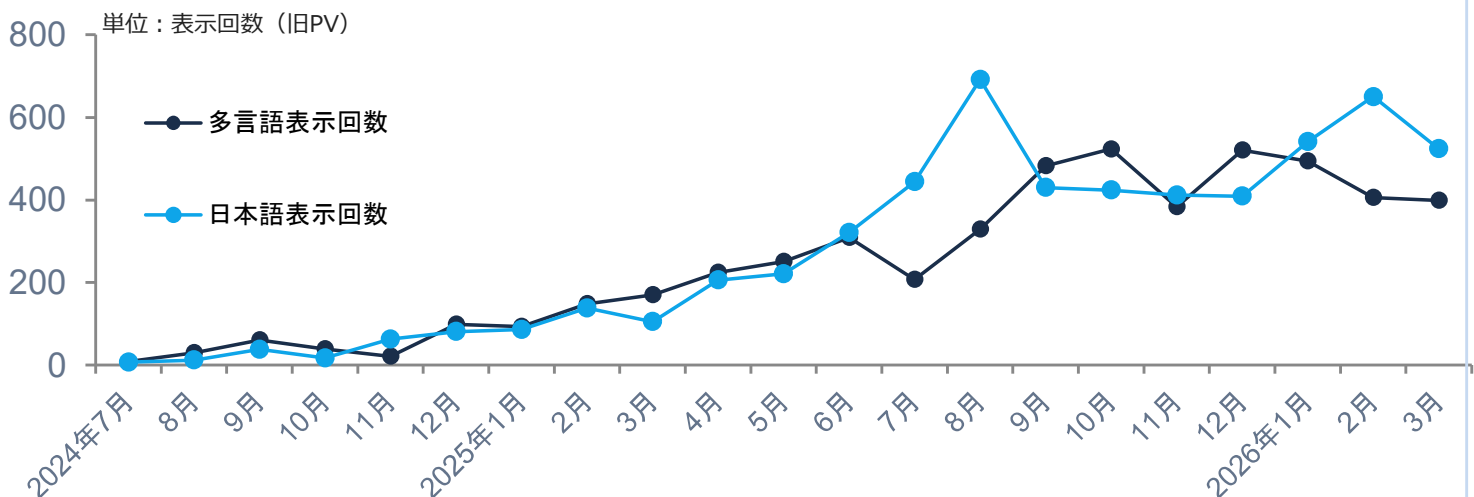
四国4県を横断して旅行する際に最も便利なサイトです。

- ・ [ツーリズム四国（公式）パンフレット一覧](#)

・ 四国観光ガイドマップ、四国酒蔵マップ、サイクリングマップなどがPDFでダウンロードできます。

AI検索からの機構ホームページアクセス数

(出所：「GA4」2024.7.~2026.3.)



AI検索からの機構ホームページアクセス数は近年日本語ページ及び外国語ページともに増加傾向にある。

今月のオウンドメディア等

(清水CMOからの情報)

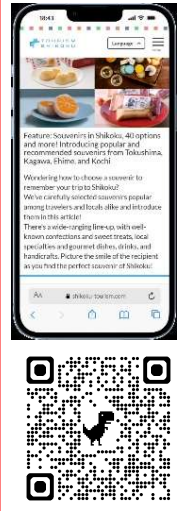
従来のホームページ表示回数ランキング (左) と AI経由の表示回数ランキング (右) 比較

(出所: 「GA4」2023.4.~2026.3)

順位	ページパスとスクリーン クラス	国
1	/course	Japan
2	/	Japan
3	/course/13557	Japan
4	/feature/karusuto/top	Japan
5	/access	Japan
6	/present2023/	Japan
7	/course/13539	Japan
8	/spot	Japan
9	/zh_TW/shikoku-henro/shikoku-henro	Taiwan
10	/feature/gourmet/local	Japan

順位	ページパスとスクリーン クラス	国
1	/	Japan
2	/en/about-shikoku/souvenir	Japan
3	/ko	South Korea
4	/course	Japan
5	/link	Japan
6	/en/	Japan
7	/zh_TW	Taiwan
8	/spot	Japan
9	/ko/see-and-do	South Korea
10	/feature/karusuto/top	Japan

souvenirページ



【従来のホームページ閲覧】

ホームページでは、台湾で四国遍路の閲覧が上位であった。

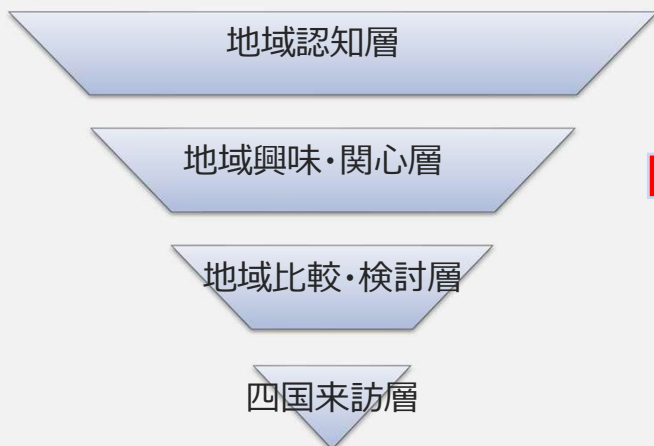
その他の閲覧は多くが「Japan」、つまり日本から日本人が日本のページを閲覧していた可能性が高い。

【AI経由のホームページ閲覧】

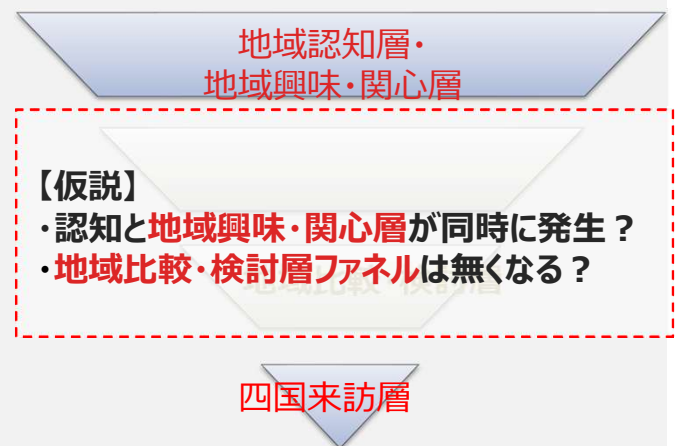
- ・日本人のみが閲覧している状態ではなくなっており、言語に関係なく閲覧されている。
- ・日本滞在時に英語の「souvenir : お土産ページ」、「/en/ : 英語トップページ」が閲覧されている。
- ・四国内で韓国人観光客の宿泊が多くなっているところ、当機構のSEOが弱かった韓国からの閲覧が増えており、AIユーザーに最適化された情報として当機構のホームページが閲覧されている可能性がある。

【仮説】AI時代の仮説—地域比較・検討層ファネルが消える？

【従来】来訪ファネル



【AI時代】来訪ファネル



- ・AIによるユーザーへの最適な提案により観光地の「認知・興味・関心」が同時に提示され、他地域と比較・検討されることなく訪地域層に移行する可能性がある。
- ・四国遍路など唯一無二のコンテンツがある観光資源は、四国を知らないユーザー層にもAIにより提案されることで来訪機会が増える。(セグメントされたマーケティングから個別に最適化されたマーケティングへ)

仮説にはなりますが、大規模なプロモーション予算がなくてもユーザーへ情報を提供する環境がAIによってもたらされる可能性があります。今後も新しい情報提供に努めてまいります。

代表理事の主な動性

- 4月 8日（水）丸亀市との共同記者会見
- 15日（水）定例会議・推進会議（当機構の会議）
- 23日（木）大分経済同友会記念講演
- 30日（木）定例会議・推進会議（当機構の会議）

後援・協賛等

事業名	主催	期間	備考（公式サイト等）
第18作 「新 鶴姫伝説～鎧に白い花を～」	坊っちゃん劇場	2025年4月29日（火） ～2027年3月 予定	https://www.botchan.co.jp/production.html
四国コンテンツ映像フェスタ2026	四国総合通信局、四国情報通信懇談会	2026年4月24日（金） ～12月（予定）	参考(2025年度公式サイト)： https://www.shikokuctcon.jp/scvf/

5月以降の主な予定表

区分	5月	6月	7月	8月	9月	10月
マーケティング (国内)	JAL麗らか四国キャンペーン（4月～10月） → ツーリズムEXPO ● （9月24日～27日/東京） ● ● 四国観光商談会 （10月6日/大阪） （10月14日/東京）					
マーケティング (国際)	● 欧米豪調査等報告会 （5月14日/高松市）		● 台湾商談会 （7月14日/台湾）		VJTM ● （9月24日 ～26日/東京）	
ブランディング	● Greater WEST JAPAN推進会議 （5月15日/大阪市）	● 理事会・社員総会・全体会議 （6月2日/高松市） ※9日記者発表 ● 四国「持続可能な観光」 推進ネットワーク会議 （6月16日/高松市）	● GSTC(サステナブルツーリズム)研修 （7月7日～9日/三豊市）			

（一社）四国ツーリズム創造機構
事業推進本部 マーケティングチーム 岸本、松本

TEL : 087-813-0434
FAX : 087-813-0312



SHIKOKUTOURISM